



平和をつなぐ

憲法九条を守ろうと訴える「北関東憲法フォーラムジャンボリー」が開かれ、12組が出演して、平和や愛を歌いあいました。約200名の参加者の中には、親子連れや障害者の姿も多数。平和をつなぎ広げる思いを新たにしました。(10月7日、結城市にて)



あの事故を忘れない

「JCO臨界事故を忘れない 原子力事故をくりかえさせない 2007年9.30 茨城集会」が10月6日、東海中央公民館で開かれました。立石雅昭氏(新潟大学教授)が「中越沖地震による柏崎刈羽原発被災が示すもの」と題して講演しました。日本全体は活断層が多くあり、東海村の原子力施設、いわき市の原発などにはさまれ、原発被災は、北茨城市も決して他人事ではないことを痛感させられました。

事故を忘れないためと、8年目の今年、歌が2曲創作され披露されました。みんなで歌えるようやさしい曲で、歌唱指導を受けながら参加者全員で声を合わせました。

自民・公明が強行した「現代のウバ捨て山」

後期高齢者医療制度とは?

この制度は、昨年の自民・公明政権が強行した医療改革法で導入が決まりました。「後期高齢者」とは75才以上の人で、65〜74才は「前期高齢者」と区分されます。来年の4月から、75才以上の人がすべて、国保や健保を脱退させられ、新設される後期高齢者医療制度に

また年金から天引き

加入させられます。全国で約1300万人、市内では約6千人が対象となります。国保などところが、保険料は年金から天引きされます。年金が月額1万5千円以上の方は介護保険とあわせての天引きとなります。いま息子さんなどの扶養家族として健保に加入して

いる高齢者は、現在は保険料を払っていませんが、この制度では新たに保険料を負担することになります。すべての高齢者から容赦なく保険料を取る制度です。保険料は都道府県別に決められますが、全国平均で6200円を見込んでいます。本市のばあい介護保険料は基準額で3900円です。すから、あわせると毎月1万円以上が天引きされることとなります。

保険証取り上げ、治療抑制も

同時に、後期高齢者医療制度の導入に便乗して、前期高齢者(65才〜74才)の国保税も来年4月から年金天引きになります。医療なしには生きていけない高齢者にたいして、まさに棄民政治・ウバ捨て山思想そのものです。

中止・撤回を求める運動を

制度の中身が知られるにつれて批判が高まり、参院選での大敗も受けて、自民・公明の与党は、扶養家族となつていて高齢者の保険料だけは一時凍結して半年先送りするなど、部分修正の動きを見せています。ただし、それが総選挙めあての時間稼ぎにすぎないことは、マスコミなどでも指摘され

ています。高齢者に過酷な負担を押しつけ、医療内容を制限す今回の制度については、小手先だけの修正ではなく、まず中止・撤回し、抜本的に見直すことが必要です。そのため現在、日本共産党は全国で緊急署名に取り組んでいきます。ご協力をよろしく願います。



日本共産党
北茨城市委員会
磯原町豊田1030-2
43-0468(福田)
42-2462(鈴木)

毎週日曜日発行

お問合せは上記へ

ご相談はお気軽に



市議会議員
鈴木康子
☎42-2462



市議会議員
福田 明
☎43-0468

「北茨城民報」はインターネットでもご覧いただけます。
<http://www.jcp-ktib.com/>

編集部では身近な情報をお待ちしています。